

安衛法第88条第1項に基づく計画の届出  
型わく支保工事前審査書  
(別表7 第10号)

事業内審査 担当者	職名					
	確認印	印	印	印	印	印

項目	記載事項	添付書類 (ページ等)	事業内 審査結果	※労基署 審査結果	
1 計画の概要	(1) 工程表				
	(2) 工事場所の周囲の状況及び四隣との関係を示す図面				
	(3) コンクリート寸法図				
	(4) 参画者の資格要件を明らかにする書面				
2 支保工	(1) 種類、構造				
	(2) 組立図				
	(3) 主要寸法、部材の接合方法				
	(4) 設計荷重と強度	イ 設計荷重及び支柱等材料の許容応力 (合板、根太、大引、支柱の強度計算)			
		ロ 設計荷重の2.5%に相当する水平荷重に対する強度 (鋼管枠が支柱の場合)			
		ハ 設計荷重の5.0%に相当する水平荷重に対する強度 (鋼管枠以外が支柱の場合)			
		ニ 水平材に使用するH型鋼等の補強材の強度 (集中荷重が作用する場合)			
	(5) 脚部の沈下・滑動防止措置 (皿板、根がらみ等)				
	(6) 支柱の継手、接続部及び交さ部の取付方法、主要寸法 (差込み、ボルト、クランプ等)				
	(7) 支柱上端の滑動防止、H型鋼を支柱とする場合の端板の 取付 (上端にはり、大引を載せる場合)				
	(8) 水平つなぎと変位防止	イ 高さ2m以内ごとに2方向の水平つなぎ設置 (鋼管枠、パイプサポート、木材が支柱の場合)			
		ロ 水平つなぎの変位防止措置 (鋼管枠、パイプサポート、木材が支柱の場合)			
		ハ 4以上のボルト又は専用の金具を使用 (パイプサポートを継ぐ場合)			
		ニ 枠間に交差筋かい設置 (鋼管枠の場合)			
		ホ 最上層と5層以内ごとに布枠設置 (鋼管枠の場合)			
		ヘ はりの寸法と両端固定方法 (はりで構成する場合)			
ト 横倒れ防止措置 (はりで構成する場合)					
(9) 浮き上がり防止措置 (型枠が曲面の場合)					
(10) 断面補強材措置 (H型鋼等を水平材に用いる場合)					
(11) 敷板、敷角等の緊結・固定方法 (段状の場合)					
3 労働災害防 止等	(1) 労働災害防止のための一般的事項				
	(2) コンクリート打設作業に対する留意事項				
	(3) 型枠支保工の組立て等作業主任者の選任				
	(4) 組立、解体等の作業に対する留意事項				